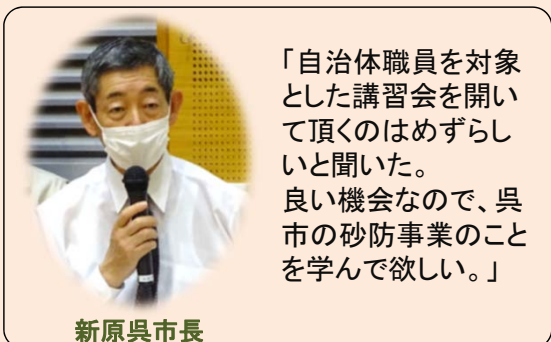




呉市職員向けの砂防事業勉強会を開催

10月29日(金)、H30. 7豪雨災害により土砂・洪水氾濫の被害を受けた呉市天応地区において、呉市職員を対象に砂防事業勉強会を開催しました。天応まちづくりセンターでは事務所職員(大山事務所長、國時副所長)による座学を行い、砂防堰堤事業箇所(大屋大川92隣e、92隣h溪流)では豊嶋主任監督員等が説明者となり2班に分れて現場見学を行いました。砂防事業を知ってもらうことで、事業の緊急性や国と市の協働作業の重要性についても学んで頂きました。

参加者数：①呉市職員 49名
②西部山系砂防事務所 8名
座学：13:30～15:20 現場見学：15:30～16:10



「自治体職員を対象とした講習会を開いて頂くのはめずらしいと聞いた。良い機会なので、呉市の砂防事業のことを学んで欲しい。」



【天応まちづくりセンターでの座学】



大屋大川92隣e溪流



ICT建機

大屋大川92隣h溪流



ICT建機の説明



ICT土工の説明時には、複雑な掘削形状でも丁張り作業がなく、作業員が少人数で工期短縮にもなる説明に対し、データ受信の仕組みや経済性など活発な質問が出ていました。女性技官からは新技術をどうやれば現場で採用できるのかなど、具体的な質問が出ていました。

【現場見学会】